

令和6年11月13日（水）に開催した令和6年度第8回公立大学法人静岡文化芸術大学役員会の結果は次のとおりである。

1 議 案

（1）専任教員の採用について

ア 趣旨

事務局から、6月26日の役員会で承認された専任教員採用公募について、専任教員の採用候補者を選考する面接を実施し、計4名の候補者が決定したので、その採用について意見を求める旨、候補者の応募書類とともに説明があった。また、理事長より、各候補者の業績や面接結果等について補足があった。

イ 主な意見・質問

・候補者3は、経歴を見るに、これまで活発な活動をしており、講師ではなく准教授としての採用でもよいのではないかと思えるがいかがか。

→履歴、業績、面接の結果を踏まえ、教員人事委員会で判断されている。本学の職位における准教授の基準「学術論文7本以上」を満たしていないという事情も考慮している。

ウ 審議結果

審議を踏まえ、議決された。

（2）特任助手の再任について

ア 趣旨

事務局より、学長から、規程に基づき、特任助手2名についての再任の申出が理事長に対してあった旨説明があった。これまでの本学での業績や勤務態度を考慮し、再任にふさわしいとの判断が教員人事委員会でなされた。

イ 主な意見・質問

再任候補者のうち1名は本学卒業生とのことで、卒業生が教育に参加するのは良いことである。

ウ 審議結果

審議を踏まえ、議決された。

（3）非常勤講師の委嘱について

ア 趣旨

事務局から、「建築CAD」、「英語科授業法Ⅰ、Ⅱ」を来年度担当する非常勤講師について、前者は、専任教員の担当科目移動により、後者は現在の非常勤講師の委嘱期間終了により、新たに2名を委嘱したいとする旨、各候補者の経歴とともに説明があった。

イ 主な意見・質問

特になし

ウ 審議結果

審議を踏まえ、議決された。

（4）特任助手の採用募集について

ア 趣旨

事務局から、令和7年4月1日付け採用予定の特任助手1名の公募を行う旨説明があった。退職した教員の後任である。採用分野は「木材加工」である。

イ 主な意見・質問

特になし

ウ 審議結果

審議を踏まえ、議決された。

2 報告事項

(1) 静岡文化芸術大学 国際交流センター講演会について

事務局から、11月20日に講堂にて開催される国際交流センター講演会「モードのジャポニズム ―欧米を魅了する日本」についてチラシの配布、紹介があった。講演者は本学の経営審議会委員でもある深井晃子氏。

以上